

## 平成30年度 後期選抜の選抜・評価方法

学校番号 58

千葉県立柏の葉高等学校 全日制の課程 普通科

### 1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	受検者5名程度・評価者2名の集団面接 検査時間：1グループ15分程度

### 2 評価項目及び評価基準

#### (1) 学力検査

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	30点以下の教科がある場合は、審議の対象とする。

#### (2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が10日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ その他	調査書の記載内容に問題があると判断される場合は、審議の対象とする。

#### (3) 面接

2名の評価者が、次の3つの評価項目について、各評価基準に基づき、A（優れている）・B（標準）・C（問題がある）の3段階で評価する。評価Cの場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	志望の動機が明確である。
イ 高校生活への意欲	高校生活に対する目標・意識が明確である。 高校生活（学習・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。
ウ 質問に対する応答 面接作法 身だしなみ	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。 基本的な面接作法が身についている。 服装・頭髪等身だしなみが整えられている。

### 3 選抜方法

#### (1) 選抜方法

平成30年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項に従い判定する。

#### (2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。  
イ 入学許可候補者のうち、隣接県公立高等学校入学者取扱協定による候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

### 4 その他

過年度卒業者については、検査終了後、別途個人面談を行う。

\*前期選抜等で入学許可候補者に内定した者のうち入学確約書を提出した者の数が、募集定員を満たした学科については、後期選抜を実施しません。

## 平成30年度 後期選抜の選抜・評価方法

学校番号 58  
千葉県立柏の葉高等学校 全日制の課程 情報理数科

### 1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	受検者5名程度・評価者2名の集団面接 検査時間：1グループ15分程度

### 2 評価項目及び評価基準

#### (1) 学力検査

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	30点以下の教科がある場合は、審議の対象とする。

#### (2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が10日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ その他	調査書の記載内容に問題があると判断される場合は、審議の対象とする。

#### (3) 面接

2名の評価者が、次の3つの評価項目について、各評価基準に基づき、A（優れている）・B（標準）・C（問題がある）の3段階で評価する。評価Cの場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	志望の動機が明確である。
イ 高校生活への意欲	高校生活に対する目標・意識が明確である。 高校生活（学習・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。
ウ 質問に対する応答 面接作法 身だしなみ	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。 基本的な面接作法が身についている。 服装・頭髪等身だしなみが整えられている。

### 3 選抜方法

#### (1) 選抜方法

平成30年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項に従い判定する。

#### (2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。  
イ 入学許可候補者のうち、隣接県公立高等学校入学者取扱協定による候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

### 4 その他

過年度卒業生については、検査終了後、別途個人面談を行う。